



### 亀山南小の学力の強みと弱み

6年生は「全国学力・学習状況調査」、4、5年生は「みえスタディチェック」の学力調査を行いました。国語、算数、理科（5、6年生のみ）の3教科の調査があり、どの子ども真剣に取り組んでいました。6年生の児童質問紙の回答によると、学習・生活習慣の定着が見られ、学習意欲も高い傾向が見られました。

また、調査結果から次のような強みと弱みがわかりました。

（数値は、6年は全国平均と4、5年は県平均との比較です）

#### 強み

（国語）・漢字や言葉の使い方など基本的な事柄が概ね身についている。

漢字の読み書き【6年+14.9 5年+20.4 4年+15】 主語、述語の関係【5年+12.4】

接続語を使い、文を二文に分ける。【5年+19.3】 常体から敬体へ書き直す。【5年+13.1】

・登場人物の心情を適切に選択できる。【6年+19.8】 ・指定の文字数で答えることができる。【5年+14.4】

（算数）・計算や図形など基本的な事柄を概ね理解している。

図形の意味や性質について理解する。【6年+20.3】 等分した長さを分数で表す。【4年+3】

最小公倍数を求める。【6年+10.2】 正しく計算する。【4年+4.4 5年+16.2 6年+1.7】

・二次元表と棒グラフを関連づける。【5年+13.9】

・言葉や数、式を使って説明する。【4年+7.5 5年+39.4】

（理科）・乾電池とモーターのつなぎ方を理解する。【5年+24.2】

・閉じ込められた空気の体積変化や押し返す力を理解する。【5年+20.6】

・実験器具の操作方法を理解する。（メスシリンダー）【6年+13.5】

・水溶液の凍り方について理解する。【6年+7.8】

・実験の結果を基に、その根拠を書く。【6年+23.7 5年+26.7】

どの学年もねばり強く問題に取り組む姿勢が見られます。  
（無回答率が低い）

#### 弱み

（国語）・文の主語を正しく選択する。【4年-7.7】 ・指示語の指し示す内容を選択する。【4年-14.6】

・ローマ字を正確に書く力が弱い。【5年-33.6%】

・苦手とする漢字の書き取りがある。（6年：反省 4年：遠足）【6年-11.6% 4年-7.7%】

（算数）・果汁が含まれている飲み物の割合を求める。【6年-9.6】・時間を求める。【4年-18】

・ひし形を書くプログラムを選ぶ。【6年-13.6】 ・何倍かを求める。【4年-15.7】

・分度器の目盛りを読み、180度より大きい角度を求める。【5年-12.6】

・分数で示された長さを選択する。【5年-28.8】

（理科）・光の性質を基に、鏡を操作し日光を反射させる問題が弱い。【6年-21.9】

・昆虫に育ち方や体のつくりを基に、条件に合わせ回答する力が弱い。【6年-7】

・1等星、2等星・・・を区別した観点を選択する。【5年-19.8】

・乾電池の向きを変えたときのモーターが回る速さを選択する。【5年-12.7】

苦手とする分野や単元があるので、繰り返し学習をして定着を図る必要があります。

## 児童質問紙調査結果（6年）より

\* 全国平均と比較して特に顕著な傾向がある質問項目をあげました。○は強み、●は弱みです。

○毎日、同じくらいの時刻に寝て起きていますか。

○将来の夢を持っていますか。 ○失敗を恐れず挑戦しますか。

○いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか。

○学校に行くのは楽しいですか。 ○友だちと協力するのは楽しいですか。

○家で計画を立てて勉強していますか。 ○学校以外での1日の勉強時間はどれくらいですか。

○読書が好きですか。 ○自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。

○地域の行事に進んで参加しますか。

○地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがありますか。

●普段（月曜から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、SNSや動画視聴をしますか。

●自分には、良いところがあると思いますか。



### 今後の取り組み



#### 言語活動の充実

- ・ペアやグループ学習を取り入れ、対話のある授業づくりを行う。
- ・理由や根拠をはっきりさせて、自分の考えが書けるように指導する。（ふり返りの時間の充実）
- ・文章・図表・グラフなどから「読む・読み取る」活動を増やす。
- ・数字や言葉、式を使って記述したり、条件に合わせてまとめたりする機会を増やす。

#### 補充学習の充実した指導や支援

- ・チャレンジタイムや宿題を活用し、基礎基本の力を繰り返しつける。
- ・自主学习ノートの取り組みを継続し、主体的に学ぶ姿勢を育てる。
- ・一人ひとりの実態に合った指導支援をする。

#### 基礎学力の定着を目指す

- ・全国学調・みえスタ問題、三重の学 viva セット等を繰り返し学習する。
- ・1人1台端末の効果的な活用（eライブラリーなど）を図り、苦手な分野の復習に取り組む。
- ・読書指導にも引き続き努め、おはなし隊の読み聞かせも行う。（地域ふれあい集会では、全校読み聞かせを予定）

#### 自己肯定感を高める取り組みをすすめる。

- ・教師が、①子供の名前を呼ぶ②教室の中に「ありがとう」を増やすという取り組みを継続し、土台となる『安心して学べる環境づくり』に努める。
- ・学校行事や学級活動を通して、達成感をもたせ自己有用感を育む。
- ・PTA 活動とも連携して SNS の適切な使い方に関する児童参加型の教育懇談会を開催する。

学習した後、期間を置いてから再度復習させ定着を図る。

ご家庭でもお子さんの学習のようすを見守っていただき、毎日の学習習慣の定着に向けてご協力ください。

\*市内一斉 「お茶の間10選」 10/15~10/21（詳細は後日）

